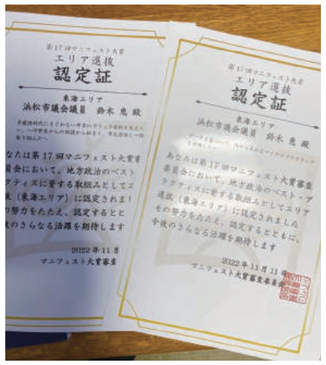
Megu's NEWS!

2つの政策が認定された
～マニュフェスト大賞～

第17回マニフェスト大賞の東海エリア選抜に、ブラック校則とマイクロプラスティック対策について、２点認定されました。これからも当事者の声を大事にすると同時に、独自の調査、エビデンスに基づいた政策提言を進めていきたい。



●多様性時代にそぐわない中学のブラック校則を変えたい。

中学生からの相談から始まり、市民団体と一緒に取り組んだ。

●データに基づいて、川から流れるマイクロプラスチックを削減したい。

「人口芝」「ブルーシート」がマイクロプラスチックに。

一人ひとりのHAPPYのために

鈴木めぐみは、どの政党にも所属していません。
鈴木めぐみは、市民のための議員を目指しています。

めぐみProfile

- ■1961年浜松市鴨江生まれ、射手座B型
- ■積志中学校、静岡県立浜松北高等学校、中央大学文学部卒業。
- ■自動車販売会社にて、女性営業職第１号としてバンバン車を売る。
- ■長男出産後、女性、子育て、まちづくりの市民活動に参加。
- ■1999～2011年 2015年～浜松市議会議員
- ■2011年～子ども・若者支援のNPOスタッフ

Megu's Voice!

【縁と運のゴミ拾い】

なぜゴミ拾いをするのか？それはゴミがあるから。以前から、馬込川河口側や弁天島のいかり瀬などのビーチクリーンの活動に参加していた。海から流れてきたゴミもあるけれど、上流から流れてきたり、飛んできたりしているゴミは多いと知った。ビーチに来る前に食い止めないとビーチや海はきれいにならないと感じていた。

また、３年前、馬込川のマイクロプラステックの調査をした際、上流からの人工芝やプラステックゴミが多いことがわかった。海にゴミを流れる前のビーチクリーンをすることは大事だけど、もっと必要なのは上流のゴミを減らすことじゃないかと考えた。

そんな私の話を聞いてくださり、地域で「ゴミ拾いしたい！」という方が声をかけてくださり、１年前ほどから有玉地域で「縁と運のゴミ拾い」が始まり、徐々に他の地域にも広がってきている。

誰かに強制されるのではなく、できる人ができる時に自主的な活動をしている。ポイ捨てゴミがなくなって、ゴミ拾いボランティアがなくなることが目標。

あなたの地域でも「縁と運のゴミ拾い」はじめてみませんか？

この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収へ

浜松Happy化計画 レポートPart2

Happy plan for Hamamatsu!!

2023 新春号

浜松で ハッピーになろう！

いつも鈴木めぐみを応援していただき、ありがとうございます。早いもので、議員任期の最終年度となりました。めぐみは「浜松でハッピーになろう！」をさらに進めるために、本年4月再度市議会に挑戦することを決意しました。

３年ものコロナ禍で、さまざまな社会のゆがみが浮かび上がってきました。経済的、精神的な困難を抱える方々は増え、環境は変化し続けてきていますが、リアルな交流が少なくなり、支援が届きにくい状況が続いています。

市内の小中不登校児童生徒は1900名を超え、靴や靴下の色は白のみなど意義を適切に説明できない中学の校則が未だ残っています。児童虐待、いじめは減っていません。子どもや若者たちが意見を言い、参加できる場が少ない状況です。

遠州灘海岸にプラスチックゴミが大量に散乱しています。また、連日３５度を超す猛暑や台風等による大雨の被害が起きています。気候変動は、環境破壊、自然災害、食料不安などに私たちの生活に大きな影響を与えています。

あなたのことはみんなのこと みんなのことはあなたのこと

みんなが幸せに暮らしていけるまちにするためには、誰かに任せるのではなく、気づいた人から輪を広げ、みんなで工夫し続けること、それを決める場に関わっていくこと、それが私たちのまちの「政治」だと思うのです。

鈴木めぐみは、あらゆるしがらみに縛られず、ハッピーな浜松を当事者目線から、みんなでアクションしながらつくっていきます。

台風15号で崩落した
天竜・二俣川の橋

浜松市議会議員 中区選出 鈴木めぐみ

編集・発行　めぐみ応援・浜松市政向上委員会
浜松市東区半田山 2-5-10　TEL/053-431-1511
MAIL/megu@megumi-happy.net　FAX/053-522-8234
HP/www.megumi-happy.net
※めぐみ応援会員募集中・内部資料

鈴木めぐみ選挙事務所
浜松市中区上島 6-24-1
鈴木めぐみ自宅
浜松市中区曳馬 6-5-17
TEL/090-8672-8534

ハッピーネット

11月議会
めぐみの
一般質問

障害児の親（ケアラー）への支援の充実を！

めぐみ

障がいのある子を持つ親は具体的にどんなことに困っているのか、どういうサービスがあれば仕事ができるのかなどについて独自にアンケート調査を実施した。211名の回答をいただいた。障がいのある子どもの親への支援はまだ不十分だ。子育て支援でもある障がいのある子の親支援の必要性について、どう考えるか。

【長田副市長答弁】

障がいのある子どもへの支援はあっても、育てる親に対しては、目を向けられることが少なく、孤独感を抱えたり、自身の健康に不安を感じたりしている親の視点に立って支援を検討することも必要。
障がいのある子どもの親が、希望を持ち、安心して暮らしていくためにが、子どもをケアすることによる生活への影響等を踏まえ、課題やニーズを的確に把握して、支援や情報提供を行なっていくことが大切であると考える。

めぐみ

障害児の親支援として「はますくヘルパー」の拡充を！

【答弁】

「はますくヘルパー」の利用状況の分析や、アンケート調査などによりニーズを把握し、支援の必要性の高い保護者への負担軽減に繋がるよう、対象年齢や利用時間制限の見直しについて検討していく。

めぐみ

医療的ケア児とその親支援の今後は？

【答弁】

今後、医療的ケア児等コーディネーターの事業周知を強化し、増加が見込まれる医療的ケア児等に対応できるよう、コーディネーターの増員を含め、関係機関と連携し、事業の拡充を検討していく。

めぐみ

さらなる脱プラ対策を！

【答弁】

今後、自動販売機については、可能な範囲でペットボトルの削減を進めるとともに、ウォーターサーバーについても区役所、協働センターなど、市民が広く利用する施設への展開を図っていく。

めぐみ

保育園などの施設給食での地産地消の推進を！

【答弁】

庁内関係各課との連携のもと、必要とされる窓口体制を整え、ニーズの把握に努めるとともに、関係機関や団体を通じ支援をすることで、浜松食材の魅力向上と地域地消の推進に取り組んでいく。

めぐみ
意見・要望

農家と施設とを繋げるコーディネートできる人材が必要だ。国の地産地消コーディネーターを派遣する制度があるが、やはり浜松市の状況を熟知している人が必要だ。人材育成に力を入れるよう、要望する。

その他の質問

●ケアラー条例を制定すべき
●旧高砂小学校跡地活用と残された課題について

めぐみ

中学校の制服の見直しを！

冬の制服だけで3万円から5万円かかる。お父さんのスーツ代より高い。その上夏の制服、体操服、ジャージ、鞄、部活の道具やユニフォームなど、公立の中学校入学にも関わらず、入学時に10万円以上の出費となる。
一部の学校で制服の見直しが行われているが、全48校中見直し済み、見直し検討中を含めても16校で、未だ全ての中学校が見直しとはなっていない。
性別や季節に関わらず、生徒が自由にパーツを選ぶことができる市内統一制服を制定し、各学校の制服か、市内統一制服のどちらかを選ぶことができる仕組みにできないか、宮崎教育長に伺う。

●代表的な男女別制服の例

【宮崎教育長答弁】

制服は、長年にわたり卒業生や地域の課方から親しまれているもの。そのため、見直す場合には、機能性や多様性だけでなく、制服のあり方や必要性の視点も加え、生徒や保護者、地域の方々と共に考える機会を設けることについて、学校へ指導をしていく。

めぐみ
意見・要望

制服についての答弁では、あくまでも、学校単位で考えて欲しいということなのでしょう。高い金額の制服についても各学校任せで見直しが進むのだろうか。
子どもたちは「今」を生きている。違和感のある制服を着ることは苦痛そのもの。市内統一制服を選べる仕組み導入、あるいは制服の廃止を積極的に考えていただきたい。

▼質問まとめ「見えにくい問題にも目を向ける」

これまで、ケアラー問題や制服問題は個人的な問題として捉えがちだった。しかし、それは社会の側が問題を見ようとしなかった。誰一人取り残さないためにも、見えにくい問題にも目を向け、一人一人が幸せになる浜松にしていただきたい。

令和３年度
決算審議

公平性、透明性に欠ける「補助金」をチェック！

質疑時間の制限のある中で、ほぼ市からの補助金で運営している「団体への補助金」（2,360万円）の決算についての質疑に時間を割いた。

コロナ禍で複数の事業が中止になっているにも関わらず、その分の金額を市に返還することなしに、プール金としていた。さらに、複数の支部に支援金を支出。その支部の使い道は市としては把握していなかった。

他の補助金同様、使われなかった事業費分の補助金を返還できるようにすること、また各支部への支援金という仕組みではなく、市から支部への補助金が支出することを検討することを意見した。ちゃんとしようよ。

その他、骨髄ドナーの増やすための方策、他機関の協働による包括的支援体制構築事業の実績、医療的ケア児コーディネーターの実績、保育所の指導監査状況、一時預かりのニーズ、里親委託率などについて、質疑した。